

2015年10月21日
丸紅情報システムズ株式会社

BLE Beacon デバイス「RapiNAVI Air2」が Eddystone に対応

丸紅情報システムズ株式会社(略称:エムシス/MSYS、本社:渋谷区渋谷 3-12-18 社長:伊吹 洋二)は、自社で開発・製造している Beacon(ビーコン) デバイス「RapiNAVI Air2(ラピナビ エア ツー)」を、米 Google が公開する近距離通信技術の新規格「Eddystone(エディストン)」に対応させました。

「Eddystone」は、2015年7月14日に Google がソースコードを公開して発表した Bluetooth Low Energy (BLE) を用いる Beacon 向けのオープンな規格です。Android や iOS など、BLE に対応するマルチプラットフォームで利用することが可能です。Apple の Beacon 規格「iBeacon」が Beacon デバイスの端末 ID (UUID) などの情報を発信する 1 パターンの送出フレームタイプであるのに対し、Eddystone には 3 パターンの送出フレームタイプが規定されています。フレームタイプの 1 つ目は「Eddystone-UID」で、iBeacon と同様に端末 ID などの情報を発信します。2 つ目は「Eddystone-URL」で、URL 情報を発信します。Eddystone-UID とは異なり、Beacon 信号を受信するためにアプリが必要なく、スマートフォンなど BLE 端末とブラウザだけで利用可能であることが特徴です。3 つ目は「Eddystone-TLM」で、Beacon デバイスのバッテリー残量・温度・起動からの経過時間といった情報を発信することで、受信側端末から Beacon の状況把握が可能となります。

RapiNAVI Air2 は、なりすまし防止機能・長い電池寿命・高い電波強度に特徴をもつ Beacon デバイスで、Eddystone に対応したことにより、今後は iBeacon モード・Eddystone モード・なりすまし防止モードから用途に応じてモードを選択・設定し販売します。既に購入済みの RapiNAVI Air2 は、ソフトウェアの有償アップデートにより Eddystone への対応が可能です。今回の Eddystone 対応では、RapiNAVI Air2 を共同開発したクレスコワイヤレス株式会社(本社:大田区山王 2-3-10 社長:森山 正吾)と引き続き技術協力を行っています。

MSYS は、2014年5月に Beacon デバイス「RapiNAVI Air」を販売開始して以来、実証実験と顧客先での実運用支援を通じて Beacon に関する知見と実績を蓄積してきました。今後も汎用 Beacon デバイスを拡充し販売することで、今後3年間に10億円を売り上げる計画です。

rapinaVI Air2

■RapiNAVI Air2 製品紹介サイト: http://www.marubeni-sys.com/mobile/navi/air2_01.html



Eddystone

【丸紅情報システムズについて】

丸紅情報システムズは、最先端 IT を駆使した付加価値の高いソリューション・サービスをお客様視点で提供するソリューションプロバイダです。製造・流通・サービス・小売・金融を中心とする様々な業界の知見やグローバルな視点、高度な提案力を強みとし新たなソリューション・サービスの提供を通じて、お客様の期待を超える新しい「価値」を創出しビジネスを支援します。

<お問い合わせ先>

丸紅情報システムズ株式会社

URL: <http://www.marubeni-sys.com/>

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-12-18 渋谷南東急ビル

広報部 広報課(プレス関係者窓口)

電話:03-5778-8885 ファックス:03-5778-8999

<製品に関するお問い合わせ>

丸紅情報システムズ株式会社

プラットフォームソリューション事業本部 ストレージ・インフラソリューション二部

電話:03-5778-8670

*文中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

*ニュースリリース記載の情報は発表日現在の情報です。記載の情報は予告なく変更される場合があります。